

参加費
1,000円

定員
20名

Bコース [実習]

オンライン開講

太陽光植物工場における生体情報計測

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
対面式の実習から**オンライン講義、リモート
実習、質疑応答**へ変更しております。

【主催】 一般社団法人日本施設園芸協会
【事務局】 愛媛大学植物工場研究センター
【概要】 愛媛大学植物工場研究センターでは、太陽光利用型植物工場の生産性向上を目的として、SPA(Speaking Plant Approach) 技術*を中心とした様々な研究・技術開発を行っています。本プログラムでは、「SPA技術を駆使した栽培管理・環境制御」を実践できる技術者の育成を行います。Bコースでは、少人数での講義と実習を通じて様々な計測技術を習得できます。
*SPA：各種センサを用いて植物生体情報を計測して生育状態を診断し、その診断結果に基づいて適切な栽培管理および環境制御を行うというものです。

2月16日[火] 13:00~16:00
(受付開始12:50~)

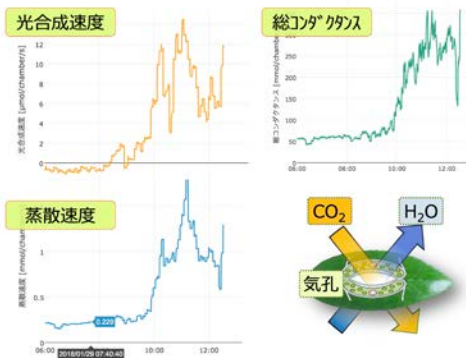
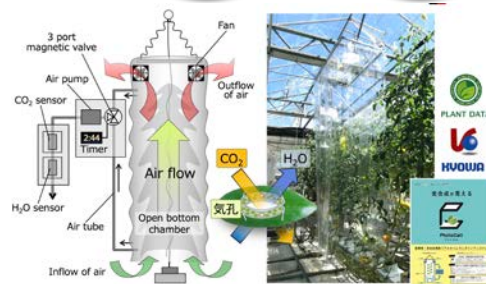
光合成計測チャンバデータの活用

高山 弘太郎

豊橋技術科学大学EIIRIS・愛媛大学大学院農学研究科 教授

光合成の最大化は、施設園芸における昼間の環境制御の主目的となっています。愛媛大学植物工場研究センターが開発した光合成計測チャンバは、生産現場において作物個体全体※を対象とした光合成（蒸散）のリアルタイムモニタリングを可能にし、光合成最大化のための環境制御戦略策定ツールとしての活用が拡大しつつあります。本講義では、光合成計測チャンバの仕組み、生産現場への導入・設置方法、取得されるデータの概要、得られたデータを用いた栽培管理戦略の策定方法などについて、実例（生産現場で得られたデータ）を引用しながら概説します。

※トマト・キュウリ・パプリカ・ナスの場合には2~3株（枝）、イチゴの場合には5~8個体を対象とした計測を行います。



解析対象期間の日積算日射量と日積算光合成量の変化



申込方法 締切：2/9(火)正午

下記の参加申込フォームより、お申し込み下さい。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。お振り込みの確認が取れましたら受付完了メールを送付致します。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡を致します。

ご不明な点は、最下段の問い合わせ先までご連絡ください。

❖ 参加申込みフォーム：
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyub/mpmailec/form.cgi>



参加申込みフォームQRコード